

第6回 高専・海事教育フォーラム

令和5年2月10日(金)、「第6回高専・海事教育フォーラム」を開催した。このフォーラムは、富山高等専門学校、鳥羽商船高等専門学校、広島商船高等専門学校、大島商船高等専門学校、弓削商船高等専門学校の商船系高専5校が互いに協力して推進する「次世代の海洋人材の育成に関する事業」の一環として、その事業を構成する2つの取組、すなわち「海事・海洋分野の人材育成事業」(主管校:富山高専)および「海事・海洋の魅力を伝える広報活動」(主管校:弓削商船高専)の内容と成果について、多くの海事関連団体、海事関連企業、海事教育機関等に広く周知することを目的とし、上記5校の主催によって開催されたものである。

6回目となる今回は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、神戸国際会議場メインホールを主会場としつつ、コラボレーションプラットフォーム「Microsoft Teams」のビデオ会議システムも援用し、ハイブリッド形式で開催するものとなった。参加者は神戸の主会場で、あるいは各地の端末等から参加した。今回のフォーラムには、その共催団体でもある日本船主協会・全日本船舶職員協会・全日本海員組合・国際船員労務協会・海技教育機構・東京海洋大学海洋工学部・神戸大学海洋政策科学部・日本海洋少年団連盟をはじめ、高専機構本部、各高専およびその他海事関連団体、海事関連企業、海事教育機関等から、計207名の参加があった。

フォーラムでは初めに富山高等専門学校の國枝校長による挨拶があり、続いて国立高等専門学校機構理事長の谷口功、国土交通省神戸運輸監理部長の田淵一浩氏、文部科学省高等教育局専門教育課長の塩田剛志氏による挨拶を頂いた。その後、本事業およびそのサブプロジェクトの担当者等から取組の内容や成果について説明や発表が行われた。さらに本事業の連携機関である日本船主協会・全日本船舶職員協会・全日本海員組合・国際船員労務協会・海技教育機構・日本海洋少年団連盟から、技術革新や環境対応に適合する海事教育と船員の魅力を伝える広報活動への期待に関する意見が寄せられ、大変有意義なフォーラムとなった。最後に本事業の担当者から今後の事業展開についての説明が行われ、そして弓削商船高等専門学校の石田校長による挨拶がフォーラムを締めくくった。

会場の外のロビーでは、本事業およびそのサブプロジェクトの取り組みを紹介するポスターのほか、過去の取り組みの一部を紹介するポスターや、本事業によって製作された教科書等の展示もあった。



国立高等専門学校機構理事長
谷口功による挨拶



国土交通省神戸運輸監理部長
田淵一浩氏による挨拶



文部科学省高等教育局専門教育課長
塩田剛志氏による挨拶



本事業およびそのサブプロジェクトの担当者等による
取組の内容や成果についての説明や発表



本事業の連携機関からの意見

参加者を対象に実施した本フォーラムに関するアンケート調査の結果の一部を、以下に掲載する。

フォーラムにおける報告や説明等の内容に関するアンケート結果

| 各項目の内容に興味を持っていたかとの質問に対する以下5段階の回答を数値化し、その平均を算出したもの―― 5=とても興味を持った、4=ある程度興味を持った、3=どちらともいえない、2=あまり興味を持てなかった、1=全く興味を持てなかった | |
|--|-----|
| プロジェクトの概要についての説明 | 4.5 |
| 「海事・海洋分野の人材育成」各サブプロジェクト報告 | |
| 海事人材としてのグローバル力向上に向けた教育システムの開発 | |
| 次世代の海洋人材に求められる実務英語教育の体系構築のためのグローバル教育拠点の最適化 国際インターンシップをハワイ(KCC)とシンガポール(SMA)において実施 | 4.3 |
| 海事・海洋分野の技術革新に対応した専門教材の開発 | |
| 学力の定着を促進する新しい教材の継続開発 | 4.5 |
| 海技資格の取得に向けた本質的かつ効率的な学習を実現する支援システムの構築 | 4.5 |
| 学生ニーズに合わせたキャリア教育の実施 | |
| 変わりゆく社会情勢の変化に対応できる自立した人材育成のためのジェネリックスキル教育の検討 | 4.5 |
| 連携協力機関の講師による「海事キャリア教育セミナー」の開催 | |
| 「卒業生とのキャリアミーティング」の開催 | 4.5 |
| 海事関連産業と海事教育界との連携強化の実施 | |
| 「船舶管理、港湾・物流業務現地調査」を実施 | 4.3 |
| 国内外の海事教育機関との連携検討 | 4.3 |
| 「海事・海洋広報活動」広報活動概要についての説明 | 4.4 |
| 「海事・海洋広報活動」各サブプロジェクト報告 | |
| 全国の中学校へ配布する海事紹介ポスターの作成・配布 | 4.4 |
| 5商船系高専における学生主体のWEBによる海事の紹介イベント | 4.5 |
| 小中学生向けの社会科の授業に利用できる教材作成 | |
| 小学生の部 | 4.3 |
| 中学生の部 | 4.3 |
| 小中学生向けの練習船体験講座の実施 | 4.4 |
| 商船系以外の工業系と連携した総合体験型学習イベントの実施（5商船系合同イベント） | |
| 大島商船実施 | 4.4 |
| 弓削商船実施 | 4.5 |
| その他 広報イベント 海洋少年団との連携イベント | 4.2 |
| 技術革新や環境対応に適合する海事教育と船員の魅力を伝える広報活動への期待 | 4.3 |
| 今後の事業展開について | 4.3 |

このアンケート結果に示されているとおり、参加していただいた多くの方々に、フォーラムの内容に興味を持っていたことが確認された。またアンケートの自由記述欄においても、多くのご助言、ご指摘、ご質問、あるいは激励のお言葉を頂いた。本事業および本フォーラムで得られた多くのご意見とネットワークを活かして、今後さらに良い事業を推進できるよう、引き続き取り組んでいきたい。

(文責:富山高等専門学校, 向瀬 紀一郎)